

2013-14 年度会長賞

2013-14 年度 国際ロータリー会長 ロン D. バートン

2013-14 年度会長賞は、会員増強を推進し、ロータリー財団を通じた人道的奉仕を充実させ、ロータリー・ファミリーを通じたネットワークを強めるさまざまな活動を実施したクラブを表彰するための賞です。会長賞の資格となる活動を行うことで、世界 34,000 以上のロータリー・クラブとともにロータリーの長期的な戦略目標の達成に寄与し、活動の効果を一層高めることができます。

手続き

クラブの今年度の活動成果を評価するため、以下の書式にご記入ください。クラブが会長賞の資格を満たすには、3つの必須項目を満たし、さらに各カテゴリーからさらに3つの項目を達成または完了することが条件となります。また、必須項目のほかに各カテゴリーで4つの項目を達成または完了したクラブは、特別会長賞を受賞する資格があります。特記されていない限り、すべての活動は2013-14年度7月1日から3月31日までの間に実施し、完了しなければなりません。

クラブが本書式に記入後、3月31日までに、地区ガバナーに送付してください（国際ロータリーに直接送付しないようお願いいたします）。国際ロータリーに直接送付された書式は受賞の対象となりません。

地区ガバナーは、クラブから書式を受理後、会長賞の資格を満たしたクラブ名を4月15日までに「会員アクセス」からオンラインでご提出ください。

会員増強の推進

必須項目

入会希望者を増やし、会員を維持することにより、7月1日から3月1日までの間に、会員を少なくとも1名純増させる。

○上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください

そのほかの活動項目

○ロータリークラブ・セントラルを使って、2013-14年度の会員増強目標を提出する

○新会員の歓迎プログラムと個人指導（メンター）プログラムを開始する（またはその内容を新しくする）

○クラブに十分に反映されていない地域人口（性別、年齢、職業、民族など）の新会員を少なくとも2名入会させることによって、会員基盤を幅広いものとする

○会員の参加に関する調査を実施し、会員維持率を最低85%に維持するための変更を取り入れる

○全会員のための指導力育成プログラムを導入する¹。もしくは、指導力育成に関するクラブの年次目標を達成するために、各会員に指導的役職か、クラブ委員会（小委員会またはプロジェクト企画の役割を割り当てる

○全会員が奉仕活動とクラブの親睦活動に少なくとも1回ずつ参加することによって、会員の参加を促進する

○専門職業人のネットワークづくりの行事を少なくとも1回主催し、クラブ会員が地元の専門職業人と会い、ロータリーを紹介できる機会を設ける

○クラブと関わりのある学友との連絡やつながりを築くためのプログラムを開始する、またはロータリー・プログラムの元参加者や財団学友を少なくとも1名入会させる。

クラブは、上記セクションの活動項目（必須項目を除く）をいくつ完了または達成しましたか。____（最低3項目、特別会長賞の場合は4項目）

ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実

必須項目

地元または海外で、少なくとも1つのロータリー重点分野に

関連する奉仕プロジェクトに参加する²。

- ・平和と紛争予防／紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

○上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください

そのほかの活動項目

- ロータリークラブ・セントラルを使って、2013-14年度のロータリー財団寄付目標を提出する
- 地域での募金活動を通じてポリオ撲滅を支援する。または、ポリオ撲滅へのロータリーの貢献について地域の人々に伝える認識向上キャンペーンを実施する
- ロータリー財団年次基金寄付への参加率が100%となる金額を問わず、すべての正会員が寄付をする)³
- ロータリー財団年次基金へのクラブの寄付額が、一人あたり平均100米ドル以上となる
- 恒久基金への寄付または遺贈を行って、将来のロータリー財団を支援する
- 少なくとも10パーセントのクラブ会員が、ロータリーの自動定期寄付の設定を行う

○グローバル補助金またはパッケージ・グラントを使ったプロジェクトに参加する

○ロータリー平和フェローを推薦する。または、ロータリー平和フェローを支援するほかのクラブを援助する。

クラブは、上記セクションの活動項目（必須項目を除く）をいくつ完了または達成しましたか。

____（最低3項目、特別会長賞の場合は4項目）

ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

必須項目

（以下のいずれか、または両方を達成する）*

- ・すべてのクラブ会員とその家族が参加する親睦活動または奉仕活動を少なくとも1回行う
- ・地元地域の奉仕プロジェクトにおいて、ロータリー以外の団体と協力する

○上記の項目を満たした場合はここをクリックしてください

そのほかの活動項目

- 地域の人々に知ってもらえるようなクラブ独自の活動は何かを考え、その活動にロータリアン以外の地元の人々にも参加してもらう。
- ロータリー・ショーケースなどのソーシャルメディアを活用して、定期的にクラブの活動を紹介し、公共イメージを高め、会員候補者を勧誘する。
- 以下の中から少なくとも1つの項目を実施することによって、ロータリー独自の職業奉仕への献身を強調する⁴
 - ・ロータリアン以外の地域の人々を対象に、キャリア相談または職業研修プログラムを立ち上げる
 - ・職場での高い倫理基準に関する討論会やワークショップを主催し、ロータリアン以外の地元のビジネス・リーダーを招待する

- ・クラブ会員が若者を職場に招き、就職機会について情報を提供するキャリアデーを主催する

○以下の中から少なくとも1つの項目を実施することによって、新世代プログラムを支援する

- ・新しいローターアクト・クラブまたはインターアクト・クラブを提唱するか、既存クラブを支援する
- ・地域内のローターアクトに対して個人指導役（メンター）となるロータリアンを付ける
- ・インターアクト・クラブまたはローターアクト・クラブとともに、合同プロジェクトを実施する
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加者を派遣する
- ・少なくとも1名の青少年交換学生を派遣または受け入れる

○ロータリー青少年プログラムの元参加者と財団学友のためのネットワークづくりのイベントを主催するか、これらの若者を例会に招いたり、卓話をしてもらう

○少なくとも5パーセントのクラブ会員がロータリー親睦活動グループまたはロータリアン行動グループに入会し、同じ関心を持つ世界中の人々と交流する

○新しいロータリー地域社会共同隊（RCC）を提唱するか、既存のRCCを支援する
クラブは、上記セクションの活動項目（必須項目を除く）をいくつ完了または達成しましたか。*

____（最低3項目、特別会長賞の場合は4項目）

*2つの必須項目の両方を達成した場合は、そのうちの1項目をそのほかの活動項目として数えることができます。

¹ 指導力育成：プログラムを始めるための手引き（250-JA）をご参照ください。

² ロータリーの重点分野ガイド（965-JA）が参考となります。

³ EREYクラブ・サクセス・キット（958-JA）を参考資料としてご活用ください。

⁴ 職業奉仕入門（255-JA）を参考資料としてご活用ください。